



ロータリー
変化をもたらす

2017-2018年度

■会長 愛宕 彰

■幹事 寺田 祐子

例会日:金曜日 12:30-13:30

例会場:スカイホテル魚津

第3084回例会

■点鐘・握手

■君が代斉唱

■ロータリーソング「我等の生業」

■ゲスト並びにビジターの紹介

- ・魚津西RC 原 英高(はら ひでたか)さん
- ・名誉会員 根岸 朗(ねぎし あきら)さん



■誕生祝い

24日:平崎君 25日:寺田夫君



私は20歳までが幼年期、40歳までが少年期、60歳までが青年期、80歳までが壮年期、そして81歳以降が老年期で、その各々の時期に目標値を持って生きるべきと考えておりますが、正直できておりません。76歳になりますが、これからも皆さんに助けられながらやっていきたいと思っております。



私たち夫婦はあまりプレゼントのやり取りをしませんので、去年は私の手術に帰ってきてくれましたので、素敵なプレゼントを贈りました。今年も出張で19日に帰ってきますので、このプレゼントを贈りたいと思っております。離れていますがこれからも夫婦仲良くやっていきたいと思っております。

■会長挨拶 愛宕会長

釜山釜一RCから武隈さんへの香典の申し出を頂いており、しっかり対応していきたいと思っております。

北朝鮮のミサイルがまた日本を通過するなど、北朝鮮・韓国情勢が緊迫化していますが、韓国では慰安婦問題等から反日感情が高まっており、以前は友好的であった日本でも嫌韓が8割を超えています。こうした中、釜山釜一RCとの友好関係については、この際やめよう、いやこういう時だからこそ仲良くやっていきたい、と両方の考えがあると思っておりますので、しっかりと詰めて考えていきたいと思っております。



■幹事報告 寺田幹事

★ガバナー事務所より

- ・ポリオ撲滅のためのニコボックス協力をお願い

★その他

- ・「秋の全国交通安全運動」出発式の参加について(魚津市交通センター)
- ・第25回地域安全・暴力追放魚津市民大会について(魚津市暴力追放運動推進協議会)
- ・魚津市民バス・地鉄バス「乗車無料デイ」のご案内(魚津市)
- ・全日本大学女子野球連盟より お礼状

■9月例会案内【基本的教育と識字率向上月間】

9月のRIレート
\$1=109円

9月22日(金):野外奉仕例会

9月29日(金):会員増強のための意見交換会

[魚津総合公園]

[スカイホテル]

★9月SAA補助:羽田君・中田君 よろしくお願ひします。

■出席報告 平崎委員長

本日の出席	欠席者	3082回メイクアップ	3082回出席率
23名	7名	2名	89.65%(←82.75%)



■ニコボックス報告 茶谷委員

★生駒君: 今日は卓話の時間を頂きありがとうございます。

★根岸君:

■委員会報告

★社会奉仕委員会 野澤常任委員長

・9/22野外奉仕例会出席のお願い

・本日例会終了後にクラブ定款・細則改定委員会開催

本日の卓話

『風向計』

生駒君

話はかなり古くなりますが、まだ幼かった私が離乳食を始めたころのことです。当時、私たち家族は東京で暮らしていました。母は、私の姿を古里、魚津の祖父母に見せたくて、私を連れて帰省しました。

その際、食べた魚の刺し身がおいしかったので、私にも食べさせたそうです。ところが、運悪く、私が消化不良を起こし、やがて、生死をさまようほどの重病になりました。母も、祖母も必死になって看病に明け暮れたとのこと。

私は運良く、一命を取り留めることができました。当時、魚津にあった通信病院の盛永新作院長が手厚い医療を施してくれたおかげだと、後になって、祖母から聞かされました。

それから年が経て、小学三年生で魚津に疎開し、中学一年生になった時のことです。担任は盛永新太郎先生でした。この人こそが、命の恩人である盛永院長のご子息でした。ところが、私が入学後、しばらくして、新太郎先生のご両親が亡くなりました。先生は、「自分の心がすさんでいる時に、子供たちを教育することは良くない」と決意され、一学期で先生を辞められました。そして、仏門に入られたのです。

私が社会人となり、再びお会いした時は既に立派な僧侶になっておられました。京都の妙心寺派大珠院の盛永宗興老師であり、花園大学の理事長も務められていました。

私は茶道裏千家淡交会のお世話をさせてもらっています。ある年、京都で開かれた総会の席で、そのころは若宗匠だった今の家元が少年時代、盛永老師に学ばれたことを聞いておりましたので「若宗匠、実は私も中学一年生のころ、盛永老師が先生で、随分、かわいがってもらいました」と申し上げたところ、若宗匠はにこにここと笑みを浮かべて「じゃあ、魚津支部長は兄弟子だ」と言われました。

そばにおられた家元(千玄室氏)も、懐かしそうに「私も(僧侶としての修業時代の名前は)宗興で、盛永老師も宗興。お互いに宗ちゃん、興ちゃんと呼び合う仲だった」とおっしゃったのです。

人生、長く生きてみると、多くの不思議な因縁があるものだとつくづくおもいます。

